

国立国会図書館 調査及び立法考査局
Research and Legislative Reference Bureau
National Diet Library

論題 Title	標題紙、はしがき、目次、おわりに、奥付
他言語論題 Title in other language	Preface / Contents / Afterword
著者 / 所属 Author(s)	—
書名 Title of Book	変化する国際環境と総合安全保障 総合調査報告書 (Comprehensive Security in a Changing International Environment)
シリーズ Series	調査資料 2021-3 (Research Materials 2021-3)
編集 Editor	国立国会図書館 調査及び立法考査局
発行 Publisher	国立国会図書館
刊行日 Issue Date	2022-03-25
ページ Pages	—
ISBN	978-4-87582-889-1
本文の言語 Language	日本語 (Japanese)
キーワード keywords	—
摘要 Abstract	—

- * この記事は、調査及び立法考査局内において、国政審議に係る有用性、記述の中立性、客観性及び正確性、論旨の明晰（めいせき）性等の観点からの審査を経たものです。
- * 本文中の意見にわたる部分は、筆者の個人的見解です。

総合調査報告書

変化する国際環境と 総合安全保障

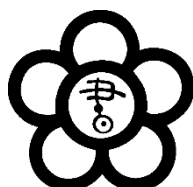
2022年3月



国立国会図書館
調査及び立法考査局

変化する国際環境と総合安全保障

総合調査報告書



2022 年 3 月

国立国会図書館
調査及び立法考査局

- * 本報告書は、国政審議の参考に供するために取りまとめたものです。
- * 本報告書の記事は、調査及び立法考査局内において、国政審議に係る有用性、記述の中立性、客観性及び正確性、論旨の明晰性^{めいせい}等の観点からの審査を経たものです。
- * 本報告書の記事のうち、意見にわたる部分は筆者の個人的見解です。
- * 本報告書の記事を全文又は長文にわたり抜粋して転載する場合には、事前に当局調査企画課（bureau@ndl.go.jp）に御連絡ください。

はしがき

国立国会図書館調査及び立法考査局は、重要な国政課題について、プロジェクトチームを編成し、分野横断的に調査・分析を行う「総合調査」を毎年実施しております。令和3年度は、「変化する国際環境と総合安全保障」を調査テーマとして取り上げました。

我が国を取り巻く国際環境は、近年、大きな変化を遂げています。

まず、グローバル化の流れが社会のあらゆる側面に及ぶようになりました。情報技術の進歩により、世界中のあらゆる場所とリアルタイムで通信することが当然になり、言語の違いも乗り越えられつつあります。経済的な相互依存も深まり、もはや私たちの生活は自国の活動だけでは成り立ちません。気候変動や新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のように、各国が協調して対応することが必要な問題にも直面しています。

一方で、国家を単位とする国際社会の構造は変わらず、特に大国間での競争や対立が顕著になっています。対立が軍事紛争にまでエスカレートしない場合であっても、輸出入を規制することで相手国の経済に損害を与えたり、情報の流布により相手国に混乱を生じさせたりするような動きが見られることがあります。経済等の面で各国の相互依存が強まっている環境下では、これら非軍事的な脅威も一国の経済・社会に大きな影響を及ぼします。

グローバル化により緊密に結び付いた国際社会の中で、他の主体からの様々な脅威に対応してどのように国民の安全を保障するかが、我が国を始めとする現在の国家にとって重要な課題となっていると言えるでしょう。

今回の総合調査では、このような脅威の多様化に対応した安全保障の在り方を「総合安全保障」と呼び、文献調査や有識者からのヒアリングを通じて、安全保障の考え方と経済、情報等の領域における安全保障の現状を整理し、分析・考察を行いました。この報告書は、その調査成果を取りまとめたものです。安全保障として論じられる領域は多岐にわたっており、その全てを網羅するには至っていませんが、主要な領域の現状と課題を提示することを目指しました。

調査に当たっては、この分野に造詣の深い多くの研究者の方々に御協力いただきました。深く感謝申し上げます。

この報告書が、国会議員の皆様の調査研究に資することはもとより、このテーマに関心をお持ちの皆様のお役に立つことを、心から願うものです。

令和4年3月

調査及び立法考査局長 寺倉 憲一

変化する国際環境と総合安全保障

目 次

はしがき	寺倉 憲一	i
本調査の趣旨と報告書の構成	樋口 修	1
 第Ⅰ部 安全保障の拡大と深化		
冷戦後の安全保障概念の拡大・深化	久古 聡美	21
スイス連邦憲法における「安全」	山岡 規雄	33
 第Ⅱ部 経済の安全保障		
サプライチェーンの安全保障		
—米中対立下の懸念と米国が主導する経済的連携—	角田 昌太郎	51
デジタル時代の通貨間競争と安全保障		
—国家の枠組みを越えるデジタル通貨は何をもたらすか？—	大森 健吾	69
公共事業の事業評価		
—稀有な大規模自然災害への対応—	山下 修弘	91
 第Ⅲ部 情報の安全保障		
米国のセキュリティ・クリアランス制度と日本における議論		
—研究者への適用をめぐる—	福田 健志	109
米国における技術流出防止のための研究者への規制	瀧澤 和子	129
中国の国家安全とデータ安全	湯野 基生	147
オーストラリア連邦議会による情報機関の監視		
—ファイブ・アイズ諸国との比較—	安田 隆子	167
おわりに		189

Comprehensive Security in a Changing International Environment

CONTENTS

Preface.....	TERAKURA Ken'ichi	i
Introduction.....	HIGUCHI Osamu	1
 Part I The Broadening and Deepening of Security		
Broadening and Deepening of the Concept of Security after the Cold War	KYUKO Satomi	21
Security in the Federal Constitution of the Swiss Confederation	YAMAOKA Norio	33
 Part II Economic Security		
Supply Chain as National Security Issue: The Risks of U.S.-China Competition and U.S.-Led Economic Partnerships	KAKUTA Shotaro	51
Currency Competition and Security Risks in the Digital Era: What Effect Will Borderless Digital Currencies Have?	OMORI Kengo	69
Evaluating Public Works: Preparing for 1000-Year Natural Disasters	YAMASHITA Nobuhiro	91
 Part III Information Security		
U.S. Security Clearances and the Debate in Japan: How Should They Apply to Researchers?	FUKUDA Takeshi	109
Regulations and Guidelines for Researchers in the United States to Prevent Technology Leakages.....	TAKIZAWA Kazuko	129
National Security and Data Security in China	YUNO Motoo	147
Parliamentary Oversight of Intelligence Services in Australia: A Comparison with other Five-Eyes Members	YASUDA Takako	167
Afterword		189

おわりに

本報告書は、国立国会図書館調査及び立法考査局の令和３年度総合調査プロジェクト「変化する国際環境と総合安全保障」の調査成果をとりまとめたものである。現在の安全保障に関する問題の多くが、経済発展と技術進歩の結果として生まれたグローバリゼーションと相互依存の進展を背景として生じており、経済・技術の安全保障が喫緊の国政課題となっていることを踏まえてこのプロジェクトは企画された。もとより急速かつ多角的に広がる現在の総合安全保障のテーマについて、全てを網羅的に検討することは困難であるが、各分野の調査員がそれぞれ鍵となるテーマを選定し、外部専門家の御教示も得て調査を深め、その成果を体系的に構成することを通じて、総合安全保障の現状と課題、さらにはその本質を把握し提示するよう努めた。この試みが、現在の安全保障に関する諸問題を考察する上での一助となれば幸いである。

本総合調査の参加メンバーは、次のとおりである（所属・肩書は当時）。

座長	本吉 理彦（専門調査員・総合調査室・令和３年３月まで）
同	樋口 修（専門調査員・総合調査室・令和３年４月から）
副座長	ローラーミカ（主幹・総合調査室・令和３年３月まで）
同	塚田 洋（主幹・総合調査室・令和３年４月から）
顧問	鈴木 滋（専門調査員・外交防衛調査室）
同	樋口 修（次長・令和３年３月まで）
同	奥山 裕之（次長・令和３年４月から）
事務局長	川西 晶大（外交防衛課長）
専門調査員	山下 修弘（専門調査員・国土交通調査室）
調査員	山岡 規雄（憲法課）
同	安田 隆子（政治議会課）
同	福田 健志（行政法務課）
同	久古 聡美（外交防衛課）
同	大森 健吾（財政金融課）
同	角田昌太郎（経済産業課）
同	瀧澤 和子（文教科学技術課）
同	湯野 基生（海外立法情報課）
事務局	福田 毅（調査企画課・令和３年３月まで）
同	岡田 悟（調査企画課・令和３年４月から）
同	鈴木 賢一（調査企画課・令和３年３月まで）
同	栃尾多佳子（調査企画課）
同	栗原 稜（調査企画課・令和３年４月から）

本総合調査においては、多角的かつ総合的な視点から分析・調査を行うため、調査テーマに造詣の深い次の学識経験者に、令和３年５月から令和４年３月まで客員調査員を委嘱し、総合

おわりに

調査の準備から本報告書の刊行まで調査の全般にわたり、ご指導を賜った。

(肩書は令和4年1月現在)

客員調査員 鈴木 一人 氏 (東京大学大学院公共政策学連携研究部教授)

調査を進める過程では、次の専門家の方々にお話を伺い、的確かつ貴重な御教示を賜った。

(肩書は当時、日付はお話を伺った日)

令和3年7月7日 菅原 淳一 氏 (みずほリサーチ & テクノロジー株式会社調査部主席研究員)

7月12日 玉井 克哉 氏 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

7月26日 遠藤 乾 氏 (北海道大学大学院公共政策学連携研究部教授)

8月5日 櫻川 昌哉 氏 (慶應義塾大学経済学部教授)

8月19日 家田 仁 氏 (政策研究大学院大学特別教授)

8月30日 永野 秀雄 氏 (法政大学人間環境学部教授)

9月30日 小林 良樹 氏 (明治大学専門職大学院ガバナンス研究科特任教授)

10月20日 松田 康博 氏 (東京大学大学院情報学環教授 (兼 東洋文化研究所教授))

この報告書の作成に当たり、お世話になった専門家の方々に、改めて心から御礼申し上げます。

『総合調査報告書』既刊案内(2007年以降)

青少年をめぐる課題	『調査資料』	2021 年 3 月
EBPM（証拠に基づく政策形成）の取組と課題	『調査資料』	2020 年 3 月
21 世紀のアメリカ	『調査資料』	2019 年 3 月
岐路に立つ EU	『調査資料』	2018 年 3 月
ダイバーシティ（多様性）社会の構築	『調査資料』	2017 年 2 月
2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた諸課題	『レファレンス』	2016 年 2 月
東日本大震災からの復興への取組の現状と課題	『レファレンス』	2014 年 12 月
21 世紀の地方分権―道州制論議に向けて―	『調査資料』	2014 年 3 月
日米関係をめぐる動向と展望	『調査資料』	2013 年 8 月
技術と文化による日本の再生 ―インフラ、コンテンツ等の海外展開―	『調査資料』	2012 年 9 月
世界の中の中国	『調査資料』	2011 年 3 月
持続可能な社会の構築	『調査資料』	2010 年 3 月
国際比較にみる日本の政策課題	『調査資料』	2010 年 1 月
オーストラリア・ラッド政権の 1 年	『調査資料』	2009 年 3 月
青少年をめぐる諸問題	『調査資料』	2009 年 2 月
人口減少社会の外国人問題	『調査資料』	2008 年 1 月
拡大 EU―機構・政策・課題―	『調査資料』	2007 年 3 月
平和構築支援の課題	『レファレンス』	2007 年 3 月

各報告書は、国会向けイントラネット「調査の窓」、国立国会図書館ホームページ <<https://www.ndl.go.jp/>>からもご覧いただけます。

調査資料2021-3

変化する国際環境と総合安全保障

総合調査報告書

令和4年3月25日発行

ISBN 978-4-87582-889-1

編集 国立国会図書館調査及び立法考査局

発行 国立国会図書館

〒100-8924 東京都千代田区永田町1丁目10番1号

電話 03 (3581) 2331

E-mail bureau@ndl.go.jp

ISBN 978-4-87582-889-1
Research Materials 2021-3

Comprehensive Security in a Changing International Environment

Research and Legislative Reference Bureau
National Diet Library
Tokyo 100-8924, Japan
E-mail : bureau@ndl.go.jp

リサイクル適性 
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。